

# 製品安全データシート

【製造者情報】 会社名 : 株式会社アサヒ産業  
住所 (本社) : 東京都文京区本郷 3-4-5  
(埼玉工場) : 埼玉県川口市朝日 4-21-62  
担当部門 : 品質管理部  
担当者 : 諸岡 厚志  
電話番号 : 048-227-5121  
FAX 番号 : 048-227-5122  
緊急連絡先 : 同上

作成 平成23年03月07日

整理番号 : 49 (GHS分類・・・該当しない)

【製品名】 商品名 : AT13 塩化ビニル樹脂コーティングガラスクロス  
主な用途 : 空調用たわみ継手材 (国土交通大臣不燃材料認定品)

【物質の特性】 単一製品・混合物の区分 : 混合物  
成分 : ガラス繊維・ポリ塩化ビニル・フタル酸系可塑剤・防炎剤・安定剤・充填剤・顔料・防カビ剤、紫外線吸収剤  
化学名及び含有量 : 非公開  
化学式又は構造式 : ガラス繊維 (アルミナ棚珪酸ガラス)  
: ポリ塩化ビニル  $(CH_2CHCl)_n$   
DOP  $C_{10}H_{16}O_2$   
三酸化アンチモン  $Sb_2O_3$   
官報公示整理番号 : ガラス繊維  
ポリ塩化ビニル 6-66  
DOP 3-1307  
三酸化アンチモン 1-543  
CAS No. : ガラス繊維 65997-17-3  
ポリ塩化ビニル 9002-86-2  
DOP 117-81-7  
三酸化アンチモン 1309-64-4  
国連分類及び国連番号 : なし

【危険有害性の分類】 分類の名称 : 下記以外分類基準に該当しない  
危険有害性 : 燃焼した場合、 $CO_2$ 、 $HCl$  の有害性ガスが発生する。又ウェルダ加工などの熱溶着時には、熔融樹脂による火傷に対する危険性を考慮した防備をしなければならない。  
環境影響 : 知見無し

事業者が取り扱う過程において、固体以外の状態であり、粒状、粉状にならない固体状混合物であるため、PRTR 法の対象製品に該当しない。

---

【応急措置】 当製品の樹脂くずを想定して  
目に入った場合 : こすらずに 15 分以上水で洗浄し、必要に応じて  
て医者診察を受ける。  
皮膚に付着した場合 : 水で洗浄する。  
吸入した場合 : 多量に吸入した場合は、医師の手当てを受ける。  
飲みこんだ場合 : 多量に飲みこんだ場合は、医師の手当てを受け  
る。

---

【火災時の措置】 消火方法 : 空気呼吸器を着用して消火にあたる。  
水噴霧、泡消火が有効。  
消火作業は、風上から行う。  
消化剤 : 散水、ドライケミカル、泡、炭酸ガス

---

【漏出時の措置】 : 漏出しないため必要なし

---

【取扱い及び保管上の注意】  
取扱い : 取扱い場所周辺の火気使用を禁止し、静電気、衝撃火花  
などによる着火源が生じないように注意をする。  
: 直接口に入れたりしない。  
: 摩擦などによる静電気ショックや静電気障害に注意す  
る。  
: 出来るだけ常温で使用する。高温時に伸縮して変形す  
ることがあり、また低温時には硬くなり衝撃で破損す  
る場合がある。  
: 輸送あるいは保管時、荷崩れ防止策を講じるようにす  
る。多段に積むと荷崩れを起こしやすく、思わぬ怪我  
をする事がある。

---

【保管】 : 直射日光、水漏れ、急激な温度変化を避け、火気源の  
無い場所に保管する。  
35℃を超える場所での保管を避ける。

---

【曝露防止措置】 管理濃度 : 規定なし  
許容濃度 : 規定なし  
設備対策 : ウェルダ加工時に発生するガスは、局所廃棄設備吸  
引し高所放出する。  
保護具 : 手袋着用

---

【物理／化学的性質】  
外観 : シルバーグレー（着色シート）

沸点	: なし
蒸気圧	: なし
揮発性	: データなし
融点	: データなし (約 190°C で分解)
溶解度 水	: データなし

【危険性情報】	引火性	: 340°C ~ 400°C
(安定性、反応性)	発火点	: データなし
	爆発限界	: データなし
	可燃性	: あり
	安定性・反応性	: 通常の取り扱いにおいて安定

【有害性情報】(人についての症例、疫学的情報を含む)

製品としてのデータはない。参考として、三酸化アンチモンとDOPのデータを記載する。

	三酸化アンチモン	DOP
刺激性	目、皮膚、気道を刺激する	皮膚/ラビット 500mg/24H マイルド 目/ラビット 500mg/24H マイルド
感作性	データなし	
急性毒性	経口 LD50 (ラット) 20g/kg	経口-ラット LD50 30.6g/kg 経口-マウス LD50 30g/kg
亜急性毒性	汗で湿った部位の皮膚に暴露を受けると皮膚炎を起こすことがある。	
慢性毒性	長期経気暴露により肺が冒されることがある。 慢性経口中毒の症状には咽頭乾燥感、悪心があり、遅発性ではあるが肺、肝臓への影響がある。	
生殖毒性	婦人労働者における後期自然流産など、または新生児発育遅延などの報告がある。	
ガン原性	1) IARC・・・グループ 2B (人に対し発ガン性があるかもしれない) 2) AGGIH・・・製造 A2 (人に対する発ガン性が疑われる) 取扱い、使用ではガン原生分類はされていない。	WHO の最新報告書によると現時点で人間に対して発ガン性を有する事を示す十分な証拠はないと述べている。
変異原性	データなし	陰性 (エームス法)
催奇形性	データなし	データなし

【環境影響情報】

製品としての知見はない。参考として成分中のDOPについて情報を記載する。

分解性 : BODによる分解度 80%  
蓄積性 : 経済産業省の既存化学物質安全性点検結果では、濃縮性はないと報告されている。  
魚毒性 : ヒメダカ ; 48h LC50 3000mg/l<  
; TLm 48h 10,800ppm

---

【輸送上の注意】 : 特に無いが取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。

---

【廃棄上の注意】 : 埋め立てる場合は、[産廃業の処理および清掃に関する法律]に従って、処理する。  
: 公認の産業廃棄物業者、もしくは地方公共団体がその処理を行なっている場合は、その団体に委託して処理する事も出来る。

---

【適用法令】 廃棄物の処理及び清掃に関する法律  
廃棄する場合、産業廃棄物の廃プラスチックに該当する。  
労働安全衛生法  
第57条の2〔労働安全衛生法による通知対象物質としてフタル酸ビス(2エチルヘキシル)、三酸化アンチモン、ニッケル及びその化合物を含有しています〕  
労働安全衛生法  
粉塵障害防止規則(ガラス繊維を裁断する場所において作業する場合適用)  
P R T R法  
非該当(P R T R法該当物質の三酸化アンチモンを含有しますが、フィルム、シートのような一定の形状を有する成形品は対象外となります)。

---

【記載内容の取り扱い】 記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、物理化学的性質、危険性に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の手扱いを対象としたものなので、特殊な場合には、用途・用法に適した安全対策を施してご利用ください。

- 引用文献
- 1) 無機化学全書IV-4 (丸善)
  - 2) 公害と毒・危険物 (三共出版)
  - 3) 毒劇物基準関係通知集 (薬務広報社)
  - 4) 劇物毒物取締の手引き (時事通信社)
  - 5) 産業医学33巻 JPN
  - 6) 化学品質検査協会 DOPの微生物による分解度試験
  - 7) 既存化学物質のハンドブック第5版 (化学工業日報社)